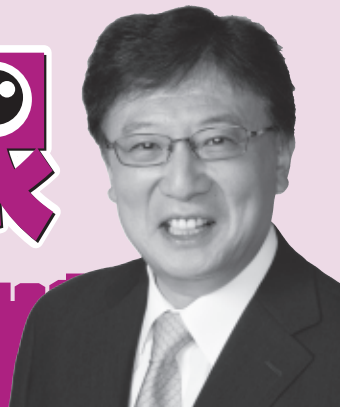


ながせひでき 永瀬秀樹の歩く眼

川口市政レポート

討議資料



第9号 都市公園の整備について

2020年東京オリンピック決定!

●2020年の夏季オリンピック開催都市が東京に決まりました。

日本の未来に希望を灯すこの快挙に全国が沸き立ち、川口駅前には東京五輪決定を祝う横断幕が掲げられました。

●実は川口とオリンピックには深い縁があります。1964年に開かれた東京五輪のシンボル、国立競技場の聖火台を製作したのは、川口市の鋳物師・鈴木萬之助さんと三男の文吾さんなのです。

●日本初のオリンピックの火を灯した聖火台は、高さ2.1m、直径2.1m、重さ2.6tの鋳物でできています。そして、鋳物の町川口の職人の誇りと技術の高さを示す、オリンピックレガシーといえるこの聖火台と同寸・同型のレプリカは、青木町公園に記念のオブジェとして設置されています。

●オリンピックと深い縁をもつ我が町川口。7年後の東京五輪に向けますますのスポーツ振興を図るためにも、公園の整備は重要です。今号では公園政策に関する私の思いをお伝えして参ります。



1. 都市公園とは

「人々が群集する遊観の場所」

●我が国の公園制度は、明治6年(1873年)、太政官布達第16号、「古来より人々が群集する遊観の場所」を公園として指定することから始まりました。当初、全国でわずか25カ所だった都市公園も、140年の歴史を経て、整備状況は、101,111箇所、面積で119,016haとなっており、一人当たり都市公園等面積は約9.9㎡です。(平成24年3月末現在)

●都市公園は、国民の多様なニーズに対応するための基幹的な施設であり、

1. 避難地等となる防災公園の整備による安全・安心な都市づくり、
2. 少子・高齢化に対応した安心・安全なコミュニティの拠点づくり、
3. 循環型社会の構築、生物多様性など地球環境問題へ

の対応に資する良好な自然的環境の保全・創出、

4. 地域の個性を活かした観光振興や地域間の交流・連携のための拠点づくり

等に重点が置かれ、全国各地でその整備と運営が計画的に実施されています。

●今、東京オリンピックが決まり、スポーツ拠点としての公園整備も急ぎたいと思います。

2. 川口市の都市公園整備は

「平均を大きく下回る」

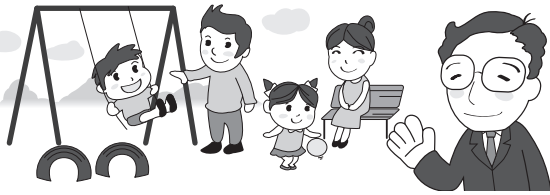
●川口市でも、都市公園の整備は、

- 良好な都市環境の形成
- スポーツレクリエーションの空間などの機能
- 災害時の避難場所や延焼遮断空間としての役割のためにおすすめられています。

●川口市の都市公園は453箇所(約190ヘクタール)、

市民1人当たりの公園面積は**3.41㎡**、私の居住する中央地区は、**2.54㎡**です。これは全国平均約**9.9㎡**をかなり大きく下回っています。(平成25年4月1日現在)

- 川口市の都市公園面積は、都市公園法施行令に示された市民一人当たりの標準面積**10㎡**、市街地の市民一人当たりの標準面積**5㎡**を大きく下回っています。
- ちなみに埼玉県の一入当たり公園面積は**6.9㎡**、お隣のさいたま市の一入当たり公園面積は**5.1㎡**です。
- これらの数値からも明らかです。今後、川口市の公園事業では、配置のバランスを考えながら面積の拡大を計画的に進めることが求められているのです。



3. 公園面積の拡大に 「大きな可能性を発見！」

- 川口市のように、市域の大部分をDID区域(人口集中地区)が占める都市部でも、今、公園面積拡大の大きなチャンスが到来しました。
- 川口市の都心部・川口駅西口、飯塚1丁目にある旧燃研敷地、経産省宿舍跡地約**3,780㎡**がその対象地です。老朽化し、宿舍としては使われなくなったこの敷地、来年3月に経済産業省から財務省に所管が移ります。この時に、地元自治体として、跡地利用に関する要望を上げる機会がやってきます。
- 私は、この機会を捉え、地元地域の皆様と共に、この土地を市の公園とし、地域住民の軽スポーツ、高齢者用のグランドゴルフやゲートボール、幼児の遊び場として活用するために払い下げを受けていただくよう、川口市に陳情いたしました。
- オリンピックに向け市民のスポーツ志向は盛んになっていきます。私は、地域の皆様と共に、粘り強く公園整備を要望していきたいと思っております。

4. 公園機能を整備し、 「バーベキューのできる公園を」

- 人々が、レジャーに求めるものも日々変化します。近年、レジャーの日常化がいわれる中、人や地域とのつながりを求めたり、健康をテーマにした観光レジャーが求

められています。

- 「2011年のレジャー白書」によれば、国内のバーベキュー人口は推定**3230万人**で、ジョギング・マラソンの**2570万人**やゴルフの**880万人**を大きく上回っています。
- 愛好者が増える中、ルール無視やマナーの悪さが目立つこともあり、地域によっては条例などで規制を強める動きも出てきています。しかし、日本はバーベキュー人口の割に、トイレや水場など快適に楽しめる環境整備が遅れています。マナーだけではなく、環境整備にも問題があるわけです。
- 川口市には、バーベキューのできる公園はまだありません。東京や埼玉県内近隣市においては、多くの公園でバーベキューを楽しむことができます。
- こうした近隣自治体の状況を見ても、市民ニーズに応えるためにも、川口市の公園でバーベキューを楽しめるよう、法令の改正、施設の整備などに取り組むことが必要です。
- 私は、バーベキューが楽しめる公園を、川口市でも早期に整備するように、働きかけていきます。

5. 地域と共にマネジメント、 「地域協働型公園整備を」

- これからの都市公園の整備には、福祉の実現のためにも、画一的な整備だけではなく、地域の実情や公園利用者の実態に耳を傾けながら、高齢者向けの健康遊具や、児童向け総合遊具の設置等について、より状況に合ったきめ細かな整備を進めていくことが必要です。
- 私は、将来の人口減少・超高齢化社会の中で、公共の福祉は【民間⇄地域市民⇄行政】の協働のもとに実現していくように提案しています。
- 都市公園は、より住民に近い形で管理運営がなされ、それだけでなく、地域の人々が公園を介して有機的に結びつく。そんな場所として公園整備が進められていくことが望ましいと考えています。



あなたのご意見をお聞かせください。

川口市議会議員 永瀬秀樹
〒332-0012 川口市本町1-6-10
Tel. 048-223-6050 Fax. 048-223-6170